

資 料

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

1) **Г. Э. Нарвайт (1971)** : 「Послемагматическое минералообразование и оруденение западных Мугоджар (西ムゴジャール地区の後マグマ性鉱化作用と鉱床)」, カザフ共和国ナウカ出版所, 113p., 図26, 表8, 文献58, 26 × 17 cm (露文)

目 次

西ムゴジャール地区の地質構造と内因性鉱床分布の基本的特徴	
西ムゴジャール地区噴出岩中の後マグマ性鉱化生成物の共生関係と晶出順序	
広域後退自変成作用による鉱物共生関係	
接触変成作用による鉱物共生関係	
先鉱化期熱水交代作用による鉱物共生関係	
鉱化期熱水交代作用による鉱物共生関係	
後鉱化期熱水交代作用による鉱物共生関係	
側岩の変質と銅鉱床	
銅—ニッケル 硫化鉄鉱石フォーメーション	
含銅硫化鉄鉱石亜フォーメーション	含銅硫化鉄鉱—磁鉄鉱石亜フォーメーション
銅—金—モリブデン鉱石フォーメーション	
銅—モリブデン鉱石亜フォーメーション	銅—金鉱石亜フォーメーション
変成岩および交代岩のフォーメーションと相	
緑色岩フォーメーション	
側岩フォーメーション (と鉱床)	
沸石—炭酸塩フォーメーション	
まとめ	

2) **Л. В. Пустовалов 編 (1967)** : 「Успехи в изучении главнейших осадочных полезных ископаемых в СССР (ソ連における重要堆積成鉱物資源の研究の進歩)」, ナウカ出版所, 297p., 26.5 × 17.5 cm (露文)

目 次

Л. В. Пустовалов : 堆積性鉱物資源—鉱物原料の基礎	p. 3 ~ 16, 文献14
А. В. Тыжнов : 石炭と油母頁岩	p. 17 ~ 39, 表2
В. Р. Клер : 石炭中の微量鉱物成分	p. 40 ~ 45, 表1
А. Н. Соловкин : 鉄鉱	p. 46 ~ 79, 文献39, 図3, 表7
В. П. Рахманов : マンガン鉱	p. 80 ~ 100, 図3, 文献31
С. В. Левченко : ボーキサイト	p. 101 ~ 132, 図1, 文献44
А. М. Лурье : 銅鉱	p. 133 ~ 143, 表1, 文献26
А. А. Глазковский : ニッケル鉱	p. 144 ~ 163, 表1, 文献16
Г. В. Фосс : 砂金	p. 164 ~ 188, 図1, 表2, 文献17
В. С. Трофимов : ダイヤモンド砂鉱	p. 189 ~ 210, 図1, 表6, 文献20
Б. Н. Ерофеев ほかに2 : 砂錫	p. 211 ~ 225, 図3, 文献7

C. И. Гурвич ほか 1 : チタン・ジルコニウム砂鉱	p. 226 ~ 238, 図 5, 表 2, 文献 13
Б. М. Гиммельфарб : 燐灰土	p. 239 ~ 255, 表 2, 文献 11
А. А. Иванов : カリ塩	p. 256 ~ 266, 図 1, 表 2, 文献 12
А. С. Зверев ほか 1 : 自然硫黄	p. 267 ~ 275
М. С. Пичугин ほか 2 : セメント原料	p. 276 ~ 284, 図 3, 文献 3
В. П. Петров : 粘土	p. 285 ~ 297, 表 1, 文献 16

3) Н. Л. Добрецов, В. С. Соболев, В. В. Хлестов (1972) : 「Фашии регионального метаморфизма умеренных давлений (中圧・広域変成相)」, ネードラ出版所, 286p., 図 57, 表 16, 文献 861, 27 × 18 cm, UDC 552.163 (露文)

目 次

第 1 章 両輝石片麻岩相 (グラニュライト相). 相の特徴の一般的な問題	
§ 1. 相の決定と限界	
§ 2. 両輝石片麻岩相の鉱物と鉱物共生	
§ 3. 両輝石片麻岩相の岩石の熱力学的生成条件	
§ 4. 両輝石片麻岩相の細区分の問題	
§ 5. 両輝石片麻岩相の鉱物共生関係に対する P T 条件変化の影響	
§ 6. 「チャーノクカイト問題」その他の地質学的問題	
第 2 章 両輝石片麻岩相岩石の主要発達地域の鉱物学的—岩石学的概説	
§ 7. バルチック楕状地	
§ 8. ウクライナ楕状地	
§ 9. その他ヨーロッパの地域	
§ 10. アメリカ大陸	
§ 11. アルダン楕状地とその他いくつかのシベリア南部の地域	
§ 12. アナバル楕状地	
§ 13. インドとセイロン島	
§ 14. アフリカ大陸	
§ 15. オーストラリア大陸	
§ 16. 南極大陸	
第 3 章 角閃岩相 (黒雲母—珪線石片麻岩相). 相の特徴の一般的な問題	
§ 17. 相の決定と限界	
§ 18. 角閃岩相の鉱物と鉱物共生	
§ 19. 角閃岩相岩石の熱力学的生成条件	
§ 20. 角閃岩相の鉱物共生関係に対する外的条件の影響	
§ 21. 高温変成帯と花崗岩との関係	
第 4 章 緑簾石—角閃岩相 (白雲母—十字石片麻岩相). 相の特徴の一般的な問題	
§ 22. 相の決定と限界	
§ 23. 緑簾石—角閃岩相の鉱物と鉱物共生	
§ 24. 緑簾石—角閃岩相岩石の熱力学的生成条件	
§ 25. 変成温度の指標としてのざくろ石中のマンガン含有量	
第 5 章 紅柱石—珪線石型変成コンプレックスの主要発達地域の鉱物学的—岩石学的概説	
§ 26. バルチック楕状地における紅柱石—珪線石型累帯コンプレックス	
§ 27. スコットランドの紅柱石—珪線石型累帯コンプレックス	
§ 28. ピレネー山脈とフランス南部の紅柱石—珪線石型変成コンプレックス	
§ 29. アメリカとカナダの紅柱石—珪線石型変成作用	

新着資料の紹介 (資料室)

- §30. シベリアにおける紅柱石-珪線石型変成コンプレックス
- §31. カムチャツカと日本の紅柱石-珪線石型累帯コンプレックス
- §32. 被変成アイアン フォーメーション中の累帯配列

第6章 緑色片岩相

- §33. 緑色片岩相の鉱物学的特徴
- §34. 緑色片岩相の鉱物共生関係と亜相
- §35. 累帯変成コンプレックス中の緑色片岩相
- §36. 緑色片岩質均質被変成層
- §37. 緑色片岩相のダイアフトライト

第7章 低温交代作用と広域後生作用

- §38. 「沸石相」
- §39. 広域後生作用
- §40. 低温広域変成作用と低温広域後生作用に伴った低温交代過程の概観
- §41. スピライト
- §42. 低温過程の物理化学的条件と鉱物学上の若干の問題

4) Ш. Е. Есенов, Э. К. Азнабаев, М. М. Маташев, Г. Х. Хакимов (1971): 「Геология и нефтегазоносность юго-востока Прикаспийской впадины (沿カスピ海凹地南東部の地質と石油・天然ガス埋蔵性)」, カザフ共和国ナウカ出版所, 128p., 図30, 表8, 文献 165, UDC 553.982.239, 27 × 17.5 cm (露文)

目 次

第1章 地質学的一地球物理学的研究状況

第2章 層序

- 沿カスピ海凹地南東縁辺部の古生層
 - デボン系 石炭系 ベルム系
- 沿カスピ海凹地南東部内帯の古生層
 - 石炭系 ベルム系
- 沿カスピ海凹地南東部とその隣接地域の中生層
 - 三畳系 ジュラ系 白亜系

第3章 構造地質

- 後ヘルシニア卓状地隣接地域の地質構造の特徴
- 沿カスピ海凹地南東部の地質構造の特徴およびウクライナ褶曲系との接合部の性格
- 下部-中部古生代構造階
- 上部古生代構造階
- クングルー上部ベルム紀構造階
- 中生-新生代構造階
- ジュラ系・三畳系・上部ベルム-クングルー系の構造面の関係
- 局部構造のタイプとその形成機構
- 負の構造のタイプとその形成機構

第4章 古地理と堆積条件

第5章 石油・天然ガス埋蔵性

- 石油・天然ガス埋蔵性の直接示徴
- 瀝青分布の特徴
- 石油産出層の問題によせて
- 石油・天然ガスの移動条件と油層・ガス層の形成条件

第6章 油層・ガス層の形成・保持の水理地質的前提

地下水の水理化学的特徴

地下水の力学的問題

水理地質学的指標による石油・天然ガス埋蔵性の展望

第7章 有望石油・天然ガス濃集予想帯

5) **А. И. Кривцев (1973)** : 「Домезозойские бокситы СССР (ソ連の先中生代ボーキサイト)」, ネードラ出版所レニングラード支所, 383p., 図72, 表52, 文献 135, UDC 553.492, 27 × 18 cm (露文)

目次

第1章 主な先中生代ボーキサイト生成期とその古気候条件

ボロネーシュ陸背斜 プリーピャチ凹地 パルチック楕状地東斜面 モスクワ陸向斜
チーマン半島

第2章 先中生代ボーキサイト鉱床の形態的タイプ

第3章 先中生代風化殻とそのボーキサイト生成体との関係

北オネガ ボーキサイト分布地域 チーフビン ボーキサイト分布地域 クルスク磁気異常
地域 ウクライナ変成岩山塊およびその他ウクライナ共和国の関係地域 チーマン半島
古期風化殻に関するまとめ

第4章 先中生代ボーキサイト鉱床の成因とその分布規則性

北オネガ ボーキサイト分布地域 チーフビン ボーキサイト分布地域 モスクワ近郊ボー
キサイト分布地域 クルスク磁気異常地域 チーマン半島

第5章 各ボーキサイト分布地域の地質学的特徴と先中生層のボーキサイト埋蔵性の展望

北オネガ ボーキサイト分布地域 チーフビン ボーキサイト分布地域 モスクワ近郊ボー
キサイト分布地域 クルスク磁気異常地域 ベルゴロード ボーキサイト分布地域 ノボ
オースコリ ボーキサイト分布地域 プリーピャチ ボーキサイト分布地域 チーマン半島
南チーマン ボーキサイト分布地域 その他

6) **В. А. Кутолин (1972)** : 「Проблемы петрохимии и петрологии базальтов (玄武岩の岩石化学的および岩石学的諸問題)」, ナウカ出版所シベリア支所, 地質・地球物理研究所報告, 189号, 208 p., 図40, 表 151, 文献 521, 27 × 18 cm, UDC 552.31 (露文)

目次

第1章 研究法

第2章 安山岩岩系の玄武岩の化学的性質

第3章 トラップ岩系の粗粒玄武岩と玄武岩の化学的性質

第4章 陸地かんらん石玄武岩岩系の玄武岩の化学的性質

第5章 海洋かんらん石玄武岩岩系の玄武岩の化学的性質

第6章 各岩系タイプの玄武岩と粗粒玄武岩の化学的性質の特徴の比較

各岩系での玄武岩と粗粒玄武岩の造岩酸化物の分布と数値的特性の分布 選択比較法

各岩系の玄武岩と粗粒玄武岩の化学組成の特徴

第7章 玄武岩と粗粒玄武岩に対する岩系所属性の岩石化学的基準

第8章 玄武岩とはんれい岩類の化学組成の比較

第9章 各岩系の玄武岩と粗粒玄武岩の主要造岩元素の線形共生

第10章 各岩系タイプの玄武岩と粗粒玄武岩の化学的性質の特性解析と玄武岩質マグマの起源の問題

玄武岩層と上部マントルの組成と構造 地殻と上部マントルの物理条件 玄武岩熔融機
構の特徴 地表への玄武岩質マグマの上昇機構 上昇期間および中間マグマ留中での分
化作用の可能性 地殻と上部マントルの物質による玄武岩質マグマの汚染の役割 各岩

系タイプの玄武岩と粗粒玄武岩の化学組成にみられる差の原因

まとめ

7) **И. И. Шарудо (1972)** : 「История позднемезозойского угленакопления на территории Дальнего Востока (極東地方後期中生代石炭形成史)」、ソ連科学アカデミーシベリア支部地質・地球物理研究所報告, 第 108号, 251p., 図52, 表19, 文献 178, 26.5 × 17.5 cm (露文)

目 次

第 1 部 極東地方後期中生代炭田の堆積相組成, 堆積条件, 地質構造

スーチャン炭田

概説 夾炭層系の層序 夾炭層の堆積相上の特徴 (陸源岩, 泥質岩, 有機成岩, 堆積相コンプレックス, 夾炭層断面構成にみられる周期性) 夾炭層の堆積条件 夾炭層中のプリケイト断層と曳裂断層 後石炭堆積期マグマ岩とその夾炭層に対する影響

スイフン炭田

概説 夾炭層系の層序 夾炭層の堆積相上の特徴 (陸源岩, 泥質岩, 有機成岩, 堆積相コンプレックス, 夾炭層断面構成にみられる周期性) 夾炭層の堆積条件 夾炭層中のプリケイト断層と曳裂断層

ゼヤーブレヤ炭田

概説 中生代後期陸成層の層序 岩石の堆積相上の特徴と周期性 (エカテリノスラフ累層, イツクート累層とポヤルコボ累層, ザビタ累層, ツァガヤン累層) 夾炭層の堆積条件 夾炭層中のプリケイト断層と曳裂断層

アムールーゼヤ炭田

概説 夾炭層系の層序 夾炭層岩石の堆積相上の特徴 (デブスキー地区, トルブザ地区) 夾炭層系の堆積条件 夾炭層のプリケイト断層と曳裂断層 後石炭堆積期マグマ岩とその夾炭層に対する影響

ブレヤ炭田

概説 夾炭層の層序 夾炭層岩石の堆積相上の特徴 陸源岩 泥質岩 生物源岩, 夾炭層岩石の堆積条件 夾炭層のプリケイト断層と曳裂断層

第 2 部 極東地方炭田の中生代後期石炭形成史と生成形式

極東地方の地質構造区分布

極東地方中生代後期夾炭層系の古構造地質的・古地理的生成条件

ジュラ紀後期 バランジュ期 オーテリーブ期 バレームーオーブ期 オーブ
ーセノマン期 セノマンーチューロン期 セノンーダン期

極東地方中生代後期諸炭田の生成形式

沿地向斜凹地に形成された炭田 新期移動性ズンバイ卓状地に形成された炭田 (内帯凹地の炭田, 外帯凹地の炭田)

極東地方における中生代後期炭層の予測

まとめ

付録: 極東地方中生代後期古地理図集

8) **Л. Н. формозова (1973)** : 「Формационные типы железных руд докембрия и их эволюция (先カンブリア系鉄鉱のフォーメイション・タイプとその進化)」、ソ連科学アカデミー地質研究所報告, 第 250号, 172p., 図57, 表50, 文献 230, 26.5 × 18 cm (露文)

目 次

Chapt. 1 Keewatin type (volcanic-cherty Formations)

1. General considerations

2. Canada and U.S.A.
 - a) Michipicoten district (Canada) b) Vermilion lake district (U.S.A.)
 3. Finland
 4. South of the Russian Platform
 - a) Kursk Magnetic Anomaly b) Ukrainian crystalline shield
 5. South Urals
 6. India
 7. Australia
 8. Africa
 9. Brazil
 10. Typical features of the Keewatin type Formations
- Chapt. 2 Kiruna and leptitic types
1. Porphyro-leptitic Formations
 2. Leptitic Formations
- Chapt. 3 Timiskaming type (limestone-cherty Formations)
1. Steep Rock (Canada)
 2. Typical features of the Timiskaming type Formations
- Chapt. 4 Krivoy Rog type (chert-shaly Formations)
1. Kursk Magnetic Anomaly
 2. Ukrainian crystalline massif
 3. Typical features of the Krivoy Rog type Formations
- Chapt. 5 Itabiritic type (dolomite-cherty Formations)
1. General considerations
 2. Brazil
Framework of Itabiritic Formation Itabirites of the Minas series Manganese itabirites and manganese ores
 3. South Africa
Position and distribution of the Itabiritic Formation Griquatown stage in Postmasburg district Pretoria stage in Transvaal Iron-manganese and manganese ores of the Postmasburg district
 4. India
 5. West and South Australia
 6. Typical features of the Itabiritic type Formations
- Chapt. 6 Taconitic type (chert-shaly Formations)
1. General considerations
 2. U.S.A.—Lake Superior region
 - a) Iron-River—Crystal-Falles (Michigan and Wisconsin states) b) Cuyuna (Minnesota state)
 3. Canada
 - a) Gunflint area (Ontario) b) Labrador Trough—Ungava c) Wabush Lake area (Quebec)
 4. Typical features of the Taconitic type Formations
- Chapt. 7 Oolitic type (chert-shaly Formations)
1. General considerations
 2. South Africa

3. North Australia

4. Typical features of the Oolitic type Formations

Chapt. 8 Similarity of some precambrian and palaeozoic Formations

Chapt. 9 Succession of precambrian iron-ore Formations

Chapt. 10 Evolution of precambrian iron-ore Formations

9) **А. Г. Чикишев (1973)** : 「Методы изучения карста (カルスト研究法)」, モスクワ大学出版所, 91 p., 図14, 表11, 文献 137, 21.5 × 14 cm, UDC 551.44 (露文)

目 次

総合的カルスト研究の組織化

カルスト研究法

地質学的方法 地形学的方法 測地学的方法 水理学的方法 生理学的方法 定量的方法
航空観察の方法 特殊図学的方法 景観標示の方法

10) **カザフ共和国科学アカデミー地質科学研究所 (1972)** : 「Геотектоногены Казахстана и ред-кометальное оруденение (カザフ地方の地体構造と稀少金属鉱床)」, 第1巻 (全2巻), カザフ共和国ナウカ出版所, 217 p., 図57, 表48, 文献 178, 27 × 18 cm, UDC 55 (露文)

目 次

第1章 ウスペンスキー ジオテクトノジーン

構造基盤

ヘルシニア輪廻の段階

ジオテクトノジーン形成の周期化 マグマ岩の地球化学的および鉱床生成上の特徴 稀少金属鉱化作用の時間と出現形態

新構造

第2章 チュー・イリー ジオテクトノジーン

原生代基盤

バイカル輪廻

カレドニア輪廻

マグマ岩の分布 後期段階のマグマ岩の鉱床胚胎性

ヘルシニア輪廻

新構造

第3章 アルタイ ジオテクトノジーン

カレドニア基盤

ヘルシニア期構造発達段階

新構造

第4章 ジオテクトノジーンの発展, 花崗岩類マグマ作用

基盤構造

機構

マグマ作用

花崗岩類貫入体

第5章 鉱床胚胎性, 稀少金属鉱化作用

バイカル輪廻

カレドニア輪廻

稀少金属鉱床

まとめ

11) ソ連科学アカデミー火山学研究所報告, 第13号 (1958): 「Молодой вулканизм СССР (ソ連の新期火山作用)」, 254 p., 26 × 17 cm (露文)

目次

Г. С. Горшков: クリル列島孤の活火山	p. 5 ~ 70, 図36, 文献57
П. Л. Безруков ほか3: クリル列島暗礁脈の海山と火山	p. 71 ~ 88, 図4, 文献12
А. Е. Святловский: クリル-カムチャツカ列島孤地域における地殻の新期運動と火山作用	p. 89 ~ 98, 図2, 文献11
В. И. Пийп: クリュチェフスカヤ ソпка火山の噴火の特徴	p. 99 ~ 119, 図18, 表1, 文献14
С. И. Набоко: 活火山帯における岩石の変質	p. 120 ~ 136, 図8, 表8, 文献4
В. И. Влодавец: 火山作用生成体中の分散元素	p. 137 ~ 154, 表7, 文献14
Л. А. Башарина: クリュチェフスカ火山とシェベル-チュ火山の噴気ガス	p. 155 ~ 159, 文献4
К. П. Флоренский: 火山ガス研究に関する問題によせて	p. 160 ~ 165, 表2
Г. М. Власов: 火山成硫黄沈殿物と表成鉍化作用の2・3の問題	p. 166 ~ 178, 文献14
Н. И. Хитаров: 深成鉍化作用の問題に関連した現世火山帯における研究課題	p. 179 ~ 185, 図2
В. В. Иванов: Камチャツカ地方の熱水の形成・分布の主な規則性	p. 186 ~ 211, 図2, 表14, 文献44
Е. К. Устиев: 南アニューイ山脈の第四紀後期火山作用と東アジア火山区	p. 212 ~ 232, 図6, 表3, 文献34
М. А. Фаворская: シホテーアリン山脈新期火山作用発達の諸特徴	p. 233 ~ 242, 図4, 表1, 文献6
В. С. Соболев ほか1: ザカルパチア地方新第三紀火山岩の地質によせて	p. 243 ~ 254, 図2, 文献22

12) ソ連科学アカデミー鉍床地質・岩石・鉍物・地球化学研究所報告, 第29号 (1959): 「Вопросы магматизма восточной Сибири (東シベリア地方マグマ作用の諸問題)」, 182p., 26 × 17 cm (露文)

目次

А. П. Лебедев: 「ビリュイ山」の分化トラップ岩貫入体	p. 4 ~ 108, 図56, 表31, 文献85
В. И. Гоньшакова: シベリア卓状地南東部における構造地質・マグマ作用と磁鉄鉍床との関係に関する問題によせて	p. 109 ~ 124, 図7, 文献11
Л. П. Хряннина: シベリア卓状地バフタ河流域におけるトラップ質マグマのアルカリ分化岩について	p. 125 ~ 153, 図14, 表2, 文献31
И. В. Гинзбург: 塩基性岩と稀少金属ーリチウムペグマタイトの接触関係	p. 154 ~ 182, 図12, 表2, 文献26